



●発行：宗教者9条の会・大分 ●〒877-0012 日田市湊窓1丁目4-25 妙栄寺 TEL 0973-22-2245

「宗教者9条の会・大分」が音楽と講演の集い開く

「宗教者9条の会・大分」は3月7日（日）、大分市内で音楽と講演の集いを開きました。コロナ対策を取る中で、約200人が参加しました。

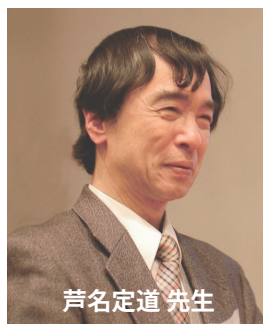
初めに林正道代表が開会あいさつ、「この会は、全国の職場・地域・学園に7000以上できた『9条の会』の1つで、これまで粘り強い運動で9条の改悪を阻止してきた。菅首相は、日本学術会議の6人の任命を拒否するなど横暴の限りを尽くしている。講師の芦

名定道京大教授もその1人であり、許せない。10月までには総選挙があり、市民と野党の共同で新しい連合政権をつくらう」と呼びかけました。

カテリーナ古楽器研究所の3人は、ヨーロッパ中世・ルネサンス期の古楽器の復元・研究をしながら、演奏活動を続けています。この日は、グレゴリオ聖歌より「ドウクチア」などが披露されました。

芦名定道京大大学院教授（キリスト教学）が、「平

和憲法から現代を問うー軍事研究の現状ー」と題して、1時間半にわたってわかりやすく講演しました。



芦名定道 先生

平和憲法から現代を問う

真宗大谷派安養寺 林正道

私が任命拒否に

昨年10月1日づけ『しんぶん赤旗』が初めて「菅首相が、日本学術会議の新会員105人のうち6人の任命を拒否した」と報じた。そのうちの1人が私。マスコミ等は、6人が安倍政権が推し進めた特定秘密保護法（2013年）や安保法制Ⅱ戦争法（15年）、共謀罪（17年）に異義を唱えてきたのを問題視したのではないかと。5人は反対運動の呼びかけ人など確信犯だと思いが、私は京大職員の副委員長だったが、数十万人の賛同者の1人に過ぎない。菅首相は、「総合的俯瞰

戦争の勝ち組も

負けてしまった人々も

共に皆 傷を負い

幸せな日々はやってこない

日本国憲法 第9条
日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



カテリーナ古楽器研究所

的に判断した」というが、未だに本質がわかったようではない。ある先輩は、「東大は2人いるのに、京大が0ではバランスが悪い。それで賛同者の名簿の最初に載っていた君が選ばれたのでは…」と。

日本学術会議は

問題の本質は、6人ではなく、日本学術会議自体が標的だったのでは…。法律で210人の会員のうち半数の105人が3年ごとに選ばれる。2016年、70歳の定年で辞めた3人の補充を提案したが、官邸が2人に難色を示し、結局補充できなかった。

が進められていたようだ。2018年、「必ずしもそのまま承認しなくてもいい」という、事務局長も知らない法律を解釈する怪文書が作られ、共産党国会議員が手に入れた。菅首相は、この文書をもとに6人の任命を拒否した。

は、「政府による研究者の活動への介入が強まる懸念がある」との声明を出した。軍事研究を巡りどうするか。最近出た佐藤学・上野千鶴子・内田樹共著の『学問の自由が危ない―日本学術会議問題の真相』に詳しい。

近代から現代へ

1868年の明治維新で日本の近代化は、富国強兵の政策の下で進められ、学術は最初から軍事研究と共にあった。宗教界も、政治的批判力が大きく欠けていた。とりわけキリスト教は、江戸時代から「邪教キリシタン」と悪者にされてきたので、何とか社会に認められたいと、戦争にも協力してきた。1912年の三教会同では、神道、仏教、キリスト教の代表者を招き、国民道德の振興について宗教界の協力を求めた。一部だが、内村鑑三は非戦を訴え、真宗大谷派の高木顕明や竹中彰元は、反戦を呼びかけて激しく弾圧された。

その反省から戦後、学術研究も宗教も平和をめざしてきた。大学の研究費は年々減らされ、先進国の中で最低に近い。現代、研究費が欲しいために軍事研究に手を染めかねない。下からは、憲法を変えようという動きも強まっている。日本会議は、改憲をめざす1000万署名をやり遂げ、自治体の意見書をとる活動を進めている。

現実の極東・東アジアでは、米国の力は衰える一方で、ロシアや朝鮮半島、中国と厳しい状況にある。

原稿募集 のお知らせ

『宗教者9条の会
大分にゆーす』に
載せる原稿を募集
しています。

「パウル・ティリツヒ」

大分メノナイト・キリスト教会 佐々木淳二

I

3月7日、ホルトホール大分に「カテリーナ古楽器研究所」の松本さんと京都大学教授、芦名定道先生をお迎えして「音楽と講演」を行いました。コロナ禍にあつて、約二百名の方が出席してくださり、良き時になったことを主催者の一人として喜んでいきます。

芦名先生は日本学術会議が推薦した会員候補の中で、菅首相が任命を拒否した6名の内のお一人です。恥ずかしい話ですが、私は芦名先生を存じ上げませんでした。また芦名先生は神学者パウル・ティリツヒの研究者でもあります。が、ティリツヒのこともまったく知りませんでした。

た。これを機にティリツヒを勉強しようと思い立ち、芦名先生が監訳した「平和の神学」(新教出版社、2003)を読みました。

II

ナチスとの闘争を繰り広げていたティリツヒは1933年ドイツを追放され、アメリカへ亡命します。ティリツヒ47歳の時でした。47になって言葉も風習も異にする国へ移り住まなければならなかったということは、辛いことであり、苦勞をしただろうと想像します。

その5年後、1938年11月12日、ティリツヒはマデイソン・スクウェア・ガーデンで満場の聴衆を前に「反ユダヤ主義の意味

するもの」と題して講演をします。これはナチスが公然と「反ユダヤ主義」を掲げ、ユダヤ民族を排斥しようとしていることに対する明確な「否」でした。

ティリツヒは「反ユダヤ主義」は「正義を恣意と独断へと捻じ曲げ、真理をプロバガンダの虚偽へと誤らせ、謙遜を高慢と傲慢へと捻じ曲げる、悪魔なのである」と断じます。

そして講演を次の言葉で締めくくりました。「私のユダヤ人の友人たちに向けて、結びの言葉を送りたい。心と魂において最終的に破壊されるのは迫害される者ではなく、迫害する者である。・・・我々迫害されたドイツ人が(たとえばティリツヒ)、あなた方(ユダヤ人)が苦しんでいるように、苦しんで

たのだと言うつもりはないが、我々もまた苦しんでいるのである」と。

III

ティリツヒが講演をした1938年11月12日。その三日前に何が起きたのか？ 11月9日はドイツ全土においてユダヤ人商店やシナゴグが襲撃された「水晶の夜」と呼ばれた日です。暗黒の夜の三日後に、世界へ向かってこのように語り得る人がいたことを知らされ、感動しました。

マルチン・ニーメラーの詩を読みましよう。

ナチスが共産主義者を攻撃した時

私は声をあげなかった
私は共産主義者ではなかつたから

ナチスがユダヤ人を攻撃

した時
私は声をあげなかった
私はユダヤ人ではなかつたから
ナチスが教会を攻撃した時
まさに自分は教会の人間であつたが
私のために声をあげてくれる者は
誰一人残っていないかつた

これは怠惰で臆病な者たちの胸を刺す鋭い言葉です。けれどもナチスがユダヤ人を攻撃した時に声をあげた人は存在したのです。

現代の預言者、パウル・ティリツヒ。彼の高き靈性、知性、迫害者を断罪する勇氣、そして迫害されている者たちへの深き愛を、私は少しずつ学んで行きたいと思わされています。

日本学術会議

日蓮宗妙栄寺 掛橋 泰定

先日芦名先生をお招きして日本学術会議任命拒否の問題点などをお話しいただきました。講演会運営には赤とんぼの会など多数のご協力をいただき会員一同感謝しています。

さて、4月10日付け西日本新聞によれば、学術会議の在り方を検討する自民党PT座長は、学術会議が公表した報告書案について、国の特別機関である組織形態の見直しに消極的だと批判、「自分たちの居場所だけを確保しようとの考えだ」と述べ、さらに党役員会では「学術会議には自己改革を期待できない」と厳しい意見が相次いだそうです。

学術会議の第1回総会で

時の吉田首相の代理で【挨拶を担当した殖田俊吉は、

「その使命の達成のためには、そのときどきの政治的、行政的便宜というようなことの掣肘（せいじょう）を受けることのないように、高度の自主性が与えられており、ここに本会議の重要な特色がある」と述べている。」

会議の設立は1949年（昭和24年）ですから、72年の歳月が経っています。が、日本学術会議法の前文に、「日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという確信に立つて、科学者の総意の下に、わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学会と提携して学術の進歩に寄与することを

使命とし、ここに設立される。」とあるように、「人類社会の福祉に貢献すること」が最大の基本理念です。

菅首相が本年度の国家公務員初任者研修で述べた、「国民全体の奉仕者として職務に当たってもらいたい」「さまざまな権限を委ねられるが、国民から託されたものであることを決して忘れてはならない」という挨拶を持ち出すまでもなく、常に「人類社会の福祉に貢献すること」とはなにかを、自らに問う真摯な作業あつてこそその団体です。

学術会議にあつては初期の設立理念が、そして国民にあつては一人ひとりの基本的人権が尊重されること。今やその基本が政権によつてなし崩しにされ

ている現状を私たちは自覚ししっかりとした対応をしないと、と考えさせられる講演会でした。

編集後記

1年以上も新型コロナウイルスに振り回され、ようやく落ち着いてきたか…と期待していたが、より強力なウイルスが拡大されようとしている。そんな中で、何とか「音楽と講演の集い」を開催することができた。これも、皆さんの協力と支援のおかげである。感謝に堪えない。しかし、小生たちも、ワクチンを打つ順番が回ってきつつあるが、どうなることやら…。安倍さんにしろ菅さんにしろ、やることなすことが後手後手でピント外れも。一刻も早くお引き取りを願いたいものだ。（H）

世話人（◎代表者）

酒迎 天信

日本山妙法寺

日野 詢城

大谷派見成寺

林 正道◎

大谷派安養寺

古谷 聡

大谷派蓮照寺

佐々木淳二

大分メソナイトキリスト教会

掛橋 泰定

日蓮宗妙栄寺

大在 紀

本願寺派長光寺

野口 春夫

日本基督教団津久見教会

宗教者9条の会・大分 事務局

〒877-0012

日田市淡窓1丁目4-25

妙栄寺 TEL 0973-22-2245

年会費 3,000円

郵便振替口座 01720-1-111731